



さはら 充恭

Let's go to the next 100 years !

佐原充恭後援会 〒448-8651 愛知県刈谷市豊田町1丁目1番地 トヨタ紡織労組内

TEL:0566(26)0385 FAX:0566(26)0415

2020年6月度活動報告 <http://www.m-sahara.jp>

1) 6月定例会報告～コロナ対策関連の追加補正予算をご紹介します。

主な事業	事業費(千円) 主管部署
1 新生児おむつ臨時助成事業 新型コロナウイルス感染拡大の影響下で生まれた子どもの家庭に対し、おむつ費用の一部を助成し、経済的負担の軽減を図る。	8,600 子育て支援課
2 高機能換気設備等導入支援事業 飲食店等の施設に対し、高機能換気設備等の設置費用の一部(国の補助対象経費の1/6、上限15万円)を補助し、新型コロナウイルス等の拡大リスクを低減する。	7,500 環境推進課
3 私立高等学校授業料補助事業(拡充) 私立高等学校等に在籍する生徒の保護者に対する授業料の補助額を拡充し、公私間の保護者負担格差を是正する。	7,774 (拡充分) 学校教育課
4 自治会活動支援事業 自治会活動の再開にあたり、感染防止対策の経費等を支援する。	5,000 市民協働課
5 子育て支援センター等新型コロナウイルス感染症対策事業 子育て支援センター、すくすく広場、のびのび広場、きらきら広場、わくわく広場、かりがね病児ケアルームに感染防止対策資材を購入する。	5,000 市民協働課
6 放課後児童クラブ運営事業 放課後児童クラブでの感染拡大防止の為、消毒液等の衛生用品を購入する。	750 (拡充分) 子育て支援課
7 保育園・幼児園備品等整備事業 公立保育園及び幼児園での感染拡大防止の為、必要な資材を購入する。	7,000 (拡充分) 子ども課
8 災害対策管理事業 コロナ禍での大規模自然災害発生に備え、防災備蓄品(簡易ベッド、段ボールベッド、間仕切り)の拡充を図る。	9,500 (拡充分) 危機管理課
9 学校教育活動支援事業 全小中学校及び特別支援学校に各校2名の学習指導員を配置し、子ども達への補習等で教員をサポートする。	40,005 (拡充分) 学校教育課
10 一般事務費事業 小中学校での感染防止対策強化の為、清掃・消毒作業を行うスクール・サポート・スタッフを配置する。	20,978 (拡充分) 教育総務課

<p>11 新型コロナウイルス感染症対策障害福祉・介護サービス事業者支援事業</p> <p>コロナ禍のもと、事業の継続要請に協力した市内の障害福祉・介護サービス事業者に対し、1事業所あたり10万円の支援 兼 慰労金を交付する。</p>	<p>21,300</p> <p>福祉総務課 長寿課</p>
<p>12 新型コロナウイルス濃厚接触者等障害福祉・介護サービス提供継続支援事業</p> <p>濃厚接触者等にサービスを提供した障害福祉・介護サービス事業者に対し、濃厚接触者1人あたり10万円と、1日あたり4千円の加算額を最大14日分交付する。</p>	<p>5,520</p> <p>福祉総務課 長寿課</p>
<p>13 民間児童福祉施設等支援事業</p> <p>コロナ禍のもと、保育事業を継続した私立認可保育所及び私立幼稚園、認可外保育所に支援金を交付する。</p>	<p>2,510</p> <p>子ども課</p>
<p>14 プレミアム商品券補助事業 (拡充)</p> <p>5月に補正した市内の店舗で使えるプレミアム商品券のプレミアム分の補助を拡充し、コロナ収束後の消費を喚起する。販売開始は令和2年8月を予定。</p>	<p>50,000 (拡充分)</p> <p>商工業振興課</p>
<p>15 中小企業家賃支援事業</p> <p>コロナ禍で売り上げが激減した市内事業者が所定の条件に該当する場合、家賃の一部を補助する。</p>	<p>100,000</p> <p>商工業振興課</p>
<p>16 中小企業持続化支援事業</p> <p>コロナ禍で特に大きな影響を受けた市内事業者が所定の条件に該当する場合、補助金を交付する。</p>	<p>125,000</p> <p>商工業振興課</p>
<p>17 ひとり親世帯臨時特別給付金支給事業</p> <p>コロナ禍の影響による子育て負担増加や収入減を考慮し、低所得のひとり親世帯に臨時特別給付金を支給する。</p>	<p>134,533</p> <p>子育て推進課</p>

新型コロナウイルスに関する情報はこちらをご参照下さい↓

<https://www.city.kariya.lg.jp/shisei/kohokariya/covid19info/index.html>



2) 6月定例会 その他の活動報告

1. 企画総務委員会～コロナ禍収束後を見据えた消防団支援について質問、提案。

☆さはらの提案『消防団員の処遇改善が残念ながら団員増に結び付いていない。今般のコロナ禍が更なる団員減につながるよう引き続き支援をお願いしたい。

コロナ収束後も様々な機会を捉え、現役世代、シニア世代、女性の加入を促進するとともに、**次代を担う子供達にも積極的にPRすべき**。例えば子ども達と一緒に拍子木を打ちながら夜警をするなど、消防団を**身近に感じられる活動**をしてはどうか。』



2. コロナ禍対応の為の各種議案を認定しました。

コロナ禍対応を主眼に置いた補正予算をはじめ、関連する各種の議案を認定しました。緊急時の財源となる財政調整基金も取り崩し、残高は約62億円となりました。

また、全28議員の委員会視察費及び政務活動費(議員が調査研究する為の経費)、議長会等の公務出張費の全額を減額し、総額1,165万1千円を、公職選挙法に抵触する寄付とならないよう条例改正を行った上で、市の感染症対策に回すこととしました。

